

「天才てれびくん MAX・ビットワールド」が カナダ・バンフテレビ祭で2冠！

カナダ・アルバータ州バンフで開かれている2009年(第30回)「バンフテレビ祭」で、NHKの青少年番組「天才てれびくん MAX・ビットワールド」が、インタラクティブ(双方向)番組部門で、部門最優秀賞にあたる「ロッキー賞」を受賞しました。また、インタラクティブ番組部門には、この双方向番組部門とともに、インターネット上のみで配信される番組を対象としたインタラクティブ(インターネット)部門があり、「天才てれびくん MAX・ビットワールド」はこの2つの部門を通じた1位に送られる「大賞」にも選ばれました。

今年は、世界30の国と地域から、23部門に800本を超える番組が集まり、130本がファイナリストとして、残っていました。授賞番組は、現地時間6日(土)から8日(月)にかけて発表されました。

- インタラクティブ番組部門大賞
- インタラクティブ(双方向)番組部門ロッキー賞

天才てれびくん MAX・ビットワールド 緊急生放送！とじこめられたトーヤを救え

(英語タイトル: BITWORLD: Rescue Toya!)

2008年9月26日放送 35分

テレビとパソコンの2つのスクリーンを同時に楽しむ新しいスタイルの特別生放送番組です。「ビットワールド」というCG仮想世界を舞台に、子どもたちから「投稿アイデア」を募り、番組が構成されています。この回では、密室に閉じ込められた少年を救出する為、スタジオの出演者と全国の子供達がインターネットを介して一致団結、室内に仕掛けられた様々な謎を解き明かします。

「天才てれびくんMAX・ビットワールド」からのお知らせ

★3月6日にも全国の子どもたちが「密室からの脱出」に挑む生番組を放送。それを再構成した特別番組を6月27日(土)15時50分から総合テレビで放送します。

★また教育テレビ、7月3日(金)18時20分からは今年度最初の特別生放送を予定。投稿アイデアから生まれた架空の生物「ビーボ」を救うため、子どもたちがインターネットを介してスタジオ出演者たちとともに謎の地下組織と対決します。

バンフテレビ祭とは

1980年に設立された、北米を代表する国際的なテレビ番組コンクール。毎年6月初旬に、カナディアン・ロッキー山脈にある国立公園で有名なバンフで開催されています。カナダ政府、アルバータ州、民間企業などが出資、主催・運営はメディア情報通信投資会社アキレス・パートナーズの子会社であるアキレス・メディア社が中心となっています。毎年、北米を中心に約1,000人近くのテレビ番組制作者、放送局幹部などが参加します。

<参考> NHKの近年の受賞作品

2006年 科学・自然番組部門 ロッキー賞

NHKスペシャル 「立花隆 最前線報告 サイボーグ技術が人類を変える」

2008年 野生・動物番組部門 ロッキー賞

ハイビジョン特集 フロンティア

「神秘の蝶 驚異の大冒険～北米大陸5000キロを渡る～」